

当地に在留・滞在又は渡航を予定している邦人の皆様へ

在イスラエル日本国大使館

2020年11月19日

イスラエル・パレスチナにおける注意喚起、安全対策 11/19

● 北部国境、ゴラン高原

11月18日、イスラエル軍は、17日にゴラン高原の国境沿いのイスラエル支配領内で「IED（簡易爆破装置）」の敷設が発見されたことを受け、17日夜から18日未明にかけて、イスラエル軍の戦闘機がシリア国内のイラン及びシリア関連軍事施設を攻撃したと発表しました。現時点で、イスラエル政府から近隣地域等への特段の行動規制等は発出されていませんが、急激に治安情勢が変化する場合があります。

従来から、イスラエルが事実上支配している地域を含むゴラン高原は（シリアの危険情報として）危険レベル4（退避勧告）、イスラエル北部のレバノンとの国境地帯は危険レベル3（渡航中止勧告）にそれぞれ指定されていますので、近寄らないでください。また、これらの地域以外のイスラエル北部にお住まいの方又は滞在される予定の方は、上記の状況を踏まえ、今後の治安情勢の変化に十分ご留意ください。

● ガザ地区及び同地区周辺

従来から、イスラエルとの境界付近で、パレスチナ人による抗議デモや焼夷弾/風船、ロケット弾等の飛来が発生しており、それらに対しイスラエル軍の反撃が頻繁に発生しています。11月15日には、ガザ地区からイスラエル領内にロケット弾2発が発射され、1発はアシュドッド郊外、もう1発はテルアビブ南方の Palmachim（ガザ地区から約60キロメートル）付近まで飛来しました。

ガザ地区及びその周辺地域は危険レベル3（渡航中止勧告）に指定されていますので、これらの地区・地域には近寄らないでください。

● ヨルダン川西岸地区及びエルサレム旧市街を含む東エルサレム

従来から、パレスチナ人とイスラエル治安当局との衝突やナイフ等を使った襲撃事案が、主にイスラエルとの境界にあるチェックポイントやイスラエル人入植地付近で発生することがありますので、危険情報に従って慎重な行動を心がけてください。特に毎週金曜日午後の礼拝後の時間帯は注意してください。場所のいかんを問わず、抗議活動や騒動の現場に遭遇した場合は決して近づかず、直ちに安全な場所に避難してください。

● 雨期に関する注意

当国では雨期の間、降雨は局地的に短時間で激しい雷雨となり、突発的な洪水（鉄砲水）が発生することがありますので、訪問先の気象情報を確認するなど、十分な注意が必要です。

また、歩行時に傘が強風に煽られたり、濡れた路面で足を滑らせることがあるので、転倒しないようお気をつけください。

（イスラエル気象局ホームページ）

<https://ims.gov.il/en>

累次の注意喚起でもお知らせしていますとおり、当地に渡航・滞在される方は、不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の関連情報を入手して安全を確保してください。

（外務省海外安全ホームページ：イスラエル、ヨルダン川西岸地区及びガザ地区の危険情報）

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo_2019T097.html#ad-image-0

（外務省海外安全ホームページ：イスラエルでの各種安全情報）

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_044.html#ad-image-0

（安全対策基礎データ（イスラエル））

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_044.html

（主要イスラエルニュースサイト（英語））

<https://www.jpost.com/Israel-News>

<https://www.haaretz.com/israel-news>

<https://www.ynetnews.com/category/3083>

<https://www.timesofisrael.com/>

<https://www.i24news.tv/en>

（イスラエル国民防衛軍ウェブサイト（英語））

<http://www.oref.org.il/894-en/Pakar.aspx>

1 海外安全情報の危険情報に従い、レベル3（渡航中止勧告）に指定されている地域への渡航は止めてください。レベル2に指定されている地域には不要不急の渡航は止めてください。レベル1に指定されている地域への渡航は十分注意してください。

2 当地ではガザ地区等からのロケット弾等の飛来の可能性があることを常に考慮し、ロケット弾等の飛来を知らせるサイレン等に接した場合には、近隣のシェルター又は堅牢な建物に避難できるよう日頃より心がけてください。

3 衝突や暴力事案が発生する可能性のあるエルサレム旧市街、東エルサレム、ヨルダン川西岸地区内各所に設置のイスラエル軍検問所付近、イスラエル人入植地付近等にはできるだけ近寄らない等、十分注意を払ってください。

4 テルアビブ南部の旧中央バスステーション付近は比較的犯罪発生件数が多い場所でもあることから、できるだけ近寄らないでください。

5 以下の施設・機関に出入りし、接近し、又は利用する際は十分注意して行動してください。

政府関連施設（特に軍、警察、治安関係施設）、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ・映画館等の不特定多数の人が集まる施設

6 訪問場所及び付近の治安状況を十分確認の上、状況次第では予定している行動を変更（中止）することも検討してください。万が一、抗議活動や騒動の現場に遭遇した場合には決して近づかず、直ちに安全な場所に退避してください。

7 行動にあたっては、「巻き込まれ」の危険性に十分注意を払うとともに、海外安全情報（外務省海外安全ホームページ）、当地報道及び在イスラエル日本国大使館ホームページ等から、最新の治安情報を入手してください。

8 イスラエル北部地域のガリラヤ湖近辺では、昨年7月にマグニチュード3程度の地震が複数回発生しました。最近発生した地震による人的被害の発生は確認されておりませんが、当地の建造物、特に1980年より前に建てられている建造物については、耐震構造上脆弱なものが多く、イスラエル北部地域では既にいくつかの建造物内にひび割れ等の症状が発生していると報じられていますので、ご注意ください。また、上記のイスラエル国民防衛軍サイトには、地震発生時の対処方法等の情報が掲載されておりますので、参考にしてください。

9 当地においても置き引き、スリ、空き巣、車上狙い等により旅券等の貴重品が盗難される事案が発生しています。滞在先（特に民泊やゲストハウス等の簡易宿泊所）での貴重品の管理・保管が難しい場合は、旅券や現金等の金品で携帯できる貴重品については、目立たない場所に収納先を分散させて携帯して防犯に努めてください。

【在イスラエル日本国大使館】

Tel: +972-(0)3-6957292

Fax: +972-(0)3-6960340

Eメール：ryouji@tl.mofa.go.jp

大使館HP：https://www.israel.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

在留届電子登録・変更（3か月以上の滞在）：

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

たびレジ登録・変更（3か月未満の渡航）：

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>